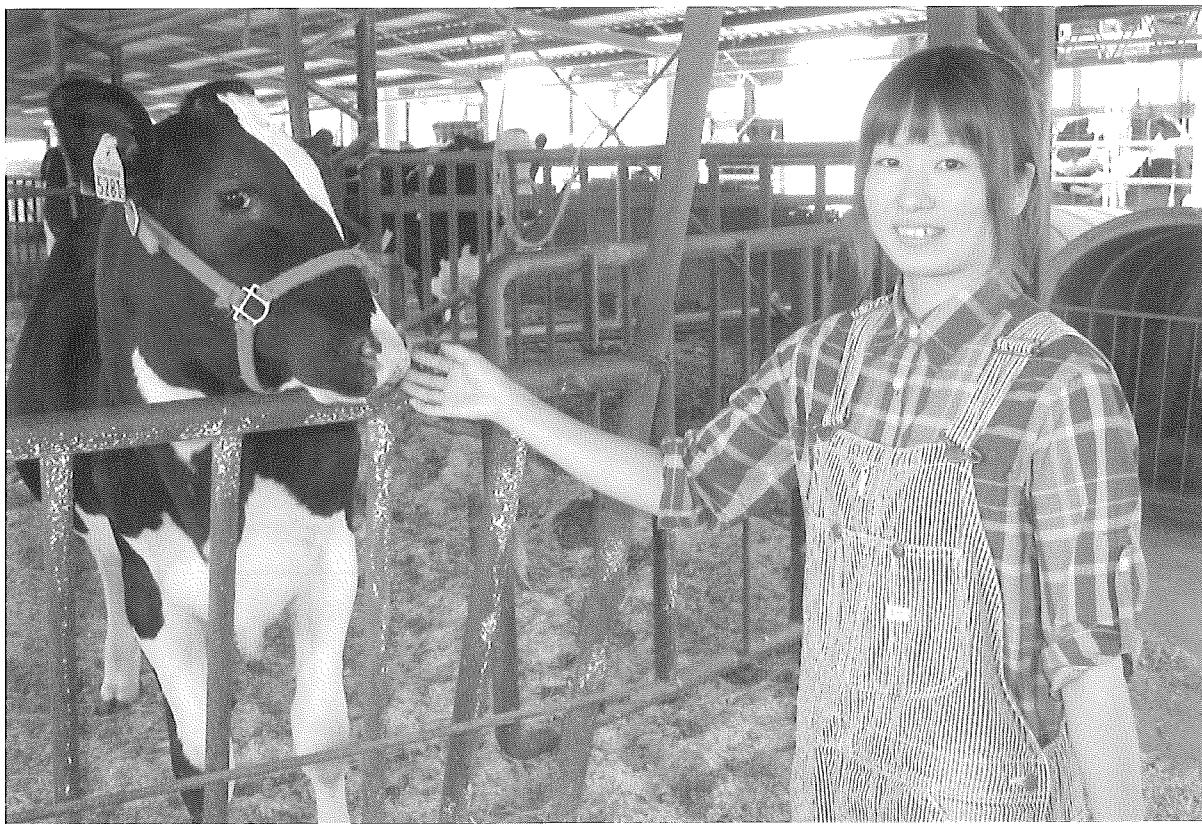


# 岡山畜産便り

2014 6



岡山市 妹尾 優佳さん(酪農)

## もくじ

### [蒜山だより]

「酪農の実践的な技術・知識の習得を目指して (公財)中国四国酪農大学校 教務課	1
平成26年度の岡山県重点施策について 岡山県農林水産部畜産課	2
平成26年度家畜共済事業重点実施方策 岡山県農業共済組合連合会	4
平成26年度重点実施策・実行具体策・行動計画 全農岡山県本部畜産部	5
平成26年度重点事業について おかやま酪農業協同組合	6
平成26年度各農業普及指導センターの 畜産関係重点課題について 農林水産総合センター普及連携部 普及推進課	7
平成26年度重点事業について (一社)岡山県畜産協会	9
〔家保のページ〕 暑熱時期の繁殖対策について 岡山家畜保健衛生所	11

### [技術のページ]

主な試験研究等について 岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 経営技術研究室	13
---	----

### [畜産現場の声]

目標は1万2000kg牛群 妹尾 優佳(岡山市)	15
-----------------------------	----

### [消費者の声]

おかやまコープの地域農業と食をつなげる取り組み (一社)岡山県畜産協会	16
--	----

### [教育現場の声]

新見高校における畜産教育 岡山県立新見高等学校 生物生産科	18
----------------------------------	----

### [お知らせ]

豚流行性下痢ワクチンの供給開始 牛異常産ワクチンの接種はお済みですか (一社)岡山県畜産協会	19
--	----

平成27年度学生募集 (公財)中国四国酪農大学校	20
-----------------------------	----

### [Q & Aコーナー]

肉用牛肥育経営安定特別対策事業支払い方法の変更 (一社)岡山県畜産協会	21
--	----

ORION MACHINERY CO.,LTD.

ORION

いつも「行く」からこそ  
見えてくる。



#### オリオンルートプログラム

ORION ルートプログラマーは、日々全国の酪農家の皆さまの下に足を運び、機器の点検を始めとした経営向上のサポートを行っています。

- ① 機器の点検サービスの提供
- ② 乳質改善のお手伝いサービス
- ③ 新しい技術情報の提供サービス

 **中国オリオン株式会社**

岡山本社 〒702-8022 岡山市南区福成2-14-23 TEL.086-263-1221  
営業所：岡山・津山・広島・上下・鳥取・出雲・小郡・大阪

## 岸化学グループ

 **株式会社 正和**

代表取締役 岸 小三郎

岡山本社 〒712-8055 岡山県倉敷市南畠1丁目13番1号

TEL 086 (450) 3807  
FAX 086 (450) 4008

広島事業所 〒738-0513 広島県佐伯区湯来町大字伏谷字今山137番58

TEL 0829 (40) 5177  
FAX 0829 (40) 5178

福山事業所 〒729-3102 広島県福山市新市町相方1089-19

TEL 0847 (54) 2007  
FAX 0847 (54) 2008

鳥取事業所 〒680-0906 鳥取県鳥取市港町51番地

TEL 0857 (50) 1736  
FAX 0857 (50) 1738

津山事業所 〒708-1544 岡山県久米郡美咲町周佐1377-4

TEL 0868 (62) 1232  
FAX 0868 (62) 1233

### 取扱品目

死亡牛・死亡豚他の処理

有機性汚泥

廃食油

動植物性残渣

医療廃棄物

〔蒜山だより〕

## 「酪農の実践的な技術・知識の習得を目指して」

公益財団法人中国四国酪農大学校 教務課

4月、節目となる第50期の新入生25人（男子14人、女子11人）が、西日本を中心とした13都府県から酪農大学校に入学しました。

近年の傾向どおり実家が畜産農家という学生は6人と少なく、ほとんどが非農家出身の学生です。高校までにある程度農場作業に慣れている学生もいれば、牛に触れるのはこれが初めてという学生もありますが、みんながそれぞれに助け合いながら自分のペースで実習に取り組んでいます。

酪農大学校では、『経営感覚と確かな技術を持った人材の育成』『酪農を通じて地域に貢献できる人材の育成』『社会人としての基礎力を備えた人材の育成』の3つを教育理念に掲げ、2年間で即戦力として認められる技術と知識を身につけられるよう、学習環境を整えています。

本校には、ホルスタイン種を繋ぎ牛舎・分離給与で飼養する第1牧場と、ジャージー種をフリーストール牛舎・TMR給与で飼養する第2牧場の2つの牧場があり、学生は2つの違ったタイプの牧場で実習を行うことで、より実践的に飼養技術を身につけることができます。

さらに、酪農現場で直接役立つトラクターやフォークリフト等の機械操作、人工授精や受精卵移植等の繁殖技術、削蹄技術などについての免許や資格の取得機会も豊富に設けています。

また、本校では全寮制をとっています。寮生活を通じて協調性と社交性を培い、仲間との絆を深めていくことは、卒業した後もきっと大きな助けとなることでしょう。

こういった環境で学んだ過去5年間の卒

業生95人の就農・就職状況は、酪農後継者が19人、雇用就農53人、ヘルパーや農協・関係団体10人、その他民間会社や大学等の付属農場、研修等に13人となっています。また、平成23年度から専修学校となり、さらに専門的に学びたいという学生には、大学への編入も可能となりました。

今年入学した第50期生の25人も2年後には知識と技術、社会性を身につけ立派に巣立っていってくれることでしょう。

酪農大学校は明日の酪農を支える若い芽を育てるための学校です。酪農を志す若者に、ぜひ本校をお勧めください。



第50期生

### —オープンキャンパスのご案内—

本校の学生生活の様子や実習内容などについて体験しながら理解を深めて頂くため、下記の日程でオープンキャンパス（体験入学）を開催します。

第1回：平成26年7月24日(木)～25日(金)

第2回：平成26年8月28日(木)～29日(金)

詳しくはホームページ、またはE-mail、電話でお問い合わせください。

ホームページ：<http://www.rakudai.ac.jp>

E-mail : info@rakudai.ac.jp

T E L : 0867-66-3651

F A X : 0867-66-3652

# 平成26年度の岡山県重点施策について

岡山県農林水産部畜産課

岡山県の畜産業は農業産出額の3分の1を占める基幹部門となっています。

県としては、全ての県民が明るい笑顔で暮らす岡山を目指して策定した、「晴れの国おかやま生き活きプラン」の「攻めの農林水産業育成プログラム」に基づき、マーケティングの強化を図り、国内外に通じる高品質・高付加価値で、魅力ある県産農林水産物のブランドを確立するとともに、新規就農者の確保・育成や、大規模経営体の育成と法人化の推進等により力強い手を育成し、儲かる産業としての農林水産業の実現を目指すこととしております。特に畜産においては、家畜改良等の生産性の向上や、飼養管理技術の高度化、地域の飼料資源の活用等、生産基盤の維持・強化に積極的に取り組むとともに、家畜伝染病の侵入防止や衛生技術指導により、安全で高品質な畜産物の安定供給を図っていくこととしており、具体的な重点施策は次のとおりです。

## 1 生産振興対策

○「みんなの牧場へ」ステップアップ事業  
公共育成牧場は、後継牛の安定確保のため一層の機能強化が求められており、効率的な飼育管理ができる体制へと転換し、地域みんなの牧場へとステップアップを図ります。

事業内容

- ①効率的生産施設等の整備及び機能強化  
(施設の整備改修、草地更新等)
- ②農家への新たなサービスの提供  
(預託畜種の拡大、受精卵移植による預託牛の付加価値向上等)
- ③牧場の持つ資源を活かした地域貢献  
(農作業受託の推進、食育の場の提供)

## ○肉用牛広域後代検定推進事業

育種価評価の高い繁殖雌牛の受精卵を活用した種雄牛を作出するとともに、第11回全国和牛能力共進会に向けた肥育素牛の作出を図ります。

事業内容

- ①優秀雌牛の採卵・移植
- ②産子検査の実施
- ③直接検定牛の選定
- ④後代検定の実施
- ⑤基幹種雄牛の選抜

## 2 飼料自給率向上対策

○Motto自給飼料！稲WCS専用品種普及対策事業

飼料原料の逼迫や円安等による輸入飼料価格の変動に影響を受けにくく、かつ低コストに畜産物を生産するため、本県の気象条件や土地条件等に適応した高品質な飼料作物の生産を推進することが重要です。このため、飼料専用品種を利用した稲WCSなど飼料価値の高い品種のさらなる普及定着を図ります。

事業内容

- ①自給飼料の利用推進
  - ・稲WCS、飼料用米の給与流通体制の検討
  - ・技術向上研修会の開催
  - ・広域かつ効率的な適期作業体制の整備
  - ・耕畜連携による飼料作物作付及び資源循環の推進
- ②飼料専用品種の生産拡大支援
  - ・新たな団地化に応じた支援
  - ・飼料専用品種種子の利用支援

## 3 担い手確保対策

○明日の畜産を支えるのはあなた！応援事業  
新規就農する場合、特に酪農では多額の

初期投資が必要であるため、廃業を予定している農家の既存施設・設備等を有効活用することで、負担を軽減し、担い手の確保を推進します。このため、県内の生産者団体、行政等からなる岡山県地域システム協議会において、畜産生産基盤の維持・拡大に向けた継承システムの充実を図るとともに、就農者への様々な支援を実施します。

#### 事業内容（協議会の活動支援）

- ・プランの作成、後継者不在農家等の把握
- ・第三継承者の募集、雇用先の紹介
- ・経営資源の斡旋
- ・継承後の技術指導、経営指導 等

#### ○酪農担い手確保対策事業

（公財）中国四国酪農大学校では、将来にわたって持続可能な運営を実現するため、自主的な運営への転換を図るべく、中期運営計画を策定しています。この中で、魅力ある学校づくりや学生確保活動に対して、担い手育成など酪農振興を補完する公益的事業の観点から支援します。

#### 事業内容

- ①教育事業（学生教育の実施）
- ②運営体制強化事業（教育カリキュラムの充実、学生支援活動の実施等）

## 4 消費拡大対策

#### ○ブランド確立輸出促進事業

畜産物の消費拡大、輸出促進に向けたブランド力の向上を図るため、輸出体制の整備等を行います。

#### 事業内容

- ①輸出に向けた体制整備
- ②海外への販売促進戦略（東アジアでの試験販売）

#### ○県営食肉市場予防保全・経営改善事業

〈新規〉

新たに予防保全の考えを導入し、平成25年度に実施した施設の耐久度診断結果

に基づき、計画的な修繕・改修を行うことで施設の長寿命化を図ります。

また、県営食肉市場活性化委員会において改善計画を策定するとともに、関係団体等と連携し、その計画の実現に向け取組を図ります。

## 5 安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進

#### ○家畜伝染病予防事業

家畜伝染病予防法に基づき、家畜伝染病の検査、注射、消毒、病性鑑定を実施し、家畜伝染病の発生及びまん延防止により、畜産経営の安定と安全な畜産物の供給を図ります。

特に、口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザについては、国内の発生に対応した監視体制の強化を継続するとともに、発生に備えた資材の備蓄等に努めます。

## 6 環境保全型畜産対策

#### ○畜産環境総合整備事業（ストックマネジメント事業）

老朽化した既存の公共的堆肥化施設に対して、機能診断をもとに施設の機能保全計画を策定し、計画的に補完改修工事を行い、機能の保全と施設の長寿命化を図ります。

## 7 畜産の技術開発

農林水産総合センター畜産研究所において、行政施策と連動した技術開発を進めます。

特に、県民ニーズを踏まえた効率的な生産や省力管理、付加価値の向上、安全安心をささえる健康な家畜の飼養管理技術、並びにバイオマス利活用による循環型社会の構築を目指した新技術等の開発を推進します。併せて岡山和牛、黒豚の改良に努めるとともに、優良受精卵の活用等による優良種畜の供給を行います。

これらの事業が円滑かつ効果的なものとなるよう引き続き御協力をお願いします。

# 平成26年度家畜共済事業重点実施方策

岡山県農業共済組合連合会

## 1 事業推進の方策

昨年度は、流行性の疾病の発生も少なく暑熱の影響も少なかったことにより死亡・廃用・病傷事故の発生が少ない年となりました。しかしながら、諸事情により畜産を取り巻く環境は依然厳しい状況が続いております。

家畜共済事業は、家畜の死亡・廃用・疾病及び傷害などの事故に対し、損害を補填する制度です。NOSAI 岡山では、制度の普及はもとより農家経営のセーフティネットとなるよう適正実施に取組んでいきます。

(1)年2回の家畜飼養頭数調査を実施し、資源把握を行い、組合等とともに引受拡大に努めています。

(2)関係する研修会等へ積極的に参加して農家ニーズの把握に努め詳細に制度説明を行ない加入率の向上を図っていきます。

(3)子牛及び牛の胎児を積極的に加入推進し、農家の補償拡大を図っていきます。

## 2 家畜診療所の運営

昨年県下で27,781件の病傷事故が発生し、その内77%に当たる21,312件の事故について県下7箇所の連合会家畜診療所と1支所で診療を行いました。

また、本年は42名の獣医師により診療業務及び損害防止事業を行っています。家畜診療所は次の項目を重点とし業務を行います。

(1)畜産経営の安定を図るために、診療業務及び損害防止体制を充実させ、支援体制を強化していきます。

(2)獣医師は、治癒率向上のため、疾病牛の早期摘発、早期治療を行います。

(3)生産獣医療体制の強化のため、職員の専門化を進め指導者を育成します。

(4)技術研究会の活動を中心として、獣医師の技術及び資質の向上に努めます。

## 3 損害防止事業の実施方策

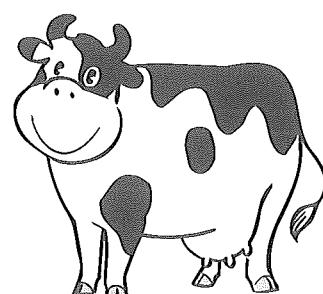
死廃・病傷事故低減を図るため、生産獣医療支援センター、家畜診療所が中心となって農家及び関係機関との連携により、特定損害防止事業、一般損害防止事業の充実を図ります。

(1)組合員等の畜産経営安定のために、繁殖検診等の支援体制を充実します。

(2)子牛及び牛の胎児の事故を減少させるため、分娩時の飼育管理指導をします。

(3)肢蹄疾患を減少させるため、岡山県装削蹄師会と連携し事故防止に努めます。

NOSAI 岡山では、以上の他診療体制を整備し診療業務を充実させることはもとより、畜産農家への支援により収益向上、消費者への安心・安全の提供防疫体制の拡充等に貢献することが重要な業務と考えておりますので皆様方のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。



# 26年度 重点実施策・実行具体策・行動計画

全農岡山県本部畜産部

重点実施策	実行具体策	26年度行動計画
1. 和牛繁殖基盤の拡充	(1)ET技術による和牛子牛生産の拡大 ア. 畜産基幹产地登録制度によるET子牛の増産 イ. 酪農家の協力による和牛子牛市場へのET子牛出荷 (2)新規参入及び酪農から和牛繁殖への経営転換促進による増頭 (3)指定交配推進と優良雌牛産子の保留推進 (4)中核農家、大型農場への支援	45頭 430頭（累計） 5名、増頭30頭  50頭 強化
2. 和牛子牛有利販売対策の強化	(1)和牛子牛資質対策協議会活動による総合的な資質向上対策の実施 ア. 推奨子牛の表示販売 イ. 測尺・展示データの分析による農家指導の実施 (2)和牛子牛の商品性向上に向けた普及・啓発活動 (3)PR活動の強化と購買者誘致 ア. 県内外への販路拡張とマーケティングの実施 イ. ホームページによるPR	認定率15% 7地域部会（強化） 2回  5箇所 実施
3. 一般市場上場頭数の維持・拡大	(1)新規販売者・購買者の誘致 (2)出荷者・購買者のネットワークを活用した集畜営業 (3)IVF産子の特別レース販売による取扱拡大	5業者 実行 160頭
4. 肉畜生産基盤の維持・拡大	(1)経営・生産技術の強化による生産基盤の維持・拡大 (2)飼料用米生産と循環型農業体系の構築 (3)耕畜連携推進によるイナワラ・WCSの拡大 (4)企業畜産との取引の維持・拡大	実施 飼料用米 4,000t 継続 400頭
5. 家畜法定伝染病等の防疫対策強化	(1)家畜市場の恒常的な口蹄疫防疫対策の実施 (2)口蹄疫及び高病原性鳥インフルエンザの農家の防疫意識の普及・啓発	継続 実施
6. 県産畜産物の取扱拡大	(1)県産畜産物の有利販売と取扱数量拡大 (2)地域ブランド（SPF豚・地域銘柄和牛・特殊卵）の確立支援と販路拡大	肉牛2,200頭 肉豚28,500頭 販路拡大
7. ミートセンター・GPセンターの品質・表示管理の徹底と低コスト製造	(1)ISO9001の運用による品質・表示管理の徹底 (2)商品性向上、オペレーションコストの削減	認証継続 強化
8. 効率的な事業体制づくり		検討

# 平成26年度重点事業について

おかやま酪農業協同組合

## I 基本方針

我が国は、安倍政権の「アベノミクス」政策により大企業・輸出企業を中心に業績が回復傾向にあります。

一方、大幅な円安進行の結果、輸入資材等の上昇で、引き続き厳しい経営を余儀なくされている産業も見られ、我々酪農界においても生産コストの上昇・酪農家の離農・乳牛頭数の減少により酪農生産基盤の弱体化が進んでいる現状にあります。

このような情勢のなか酪農生産基盤を守るために組織改編を活かし事業の効率化を図ってまいります。

## 事業重点推進方法

1. 生乳生産量 91,000 t、購買取扱数量 78,500 t、流通取扱頭数 9,600 頭以上を目指として取り組みます。
2. 生乳の安心・安全（ポジティブリスト制）確保に取り組みます。
3. 財務の拡充を図ります。
4. 中販連、全販連と連携し、事業推進を強化します。
5. 行政、諸機関の指導・情報・補助事業等積極的に取り組みます。

## II 各事業の運営方針

### 1. 酪農支援事業

生乳の安心・安全の確保を図るためチェックシート記入励行を推進します。

中国生乳販連による統一検査の下、乳質改善指導に努めます。

国の事業により関係機関の指導を得てカウコンフォート事業を推進し、乳牛の生産性向上を図ります。

自給率向上と稻WCSの給与体系、利用について研究します。

新規就農者の確保と担い手育成に努めます。

### 2. 酪農ヘルパー事業

おかやま酪農ヘルパー利用組合との相互理解の上でヘルパー事業を推進します。

### 3. 改良登録・精液・牛群検定事業

乳牛の遺伝的改良に取り組み、個体の生涯生産性向上を図ります。

### 4. 診療・受精卵移植事業

指導診療を目標とし、超音波診断装置を用いた繁殖検診の技術向上を図り、繁殖管理を支援いたします。

性判別技術や雌選別精液を用いた採卵事業に取組み乳牛改良の推進を図ります。

### 5. 乳牛流通事業

乳用牛並びに哺育・肥育牛等の斡旋・販売を円滑に推進致します。

高品質乳牛導入事業、乳質改善対策事業、搾乳素牛確保支援事業並びに後継牛対策に取り組み、生産基盤の確保と酪農経営の安定を図ります。

### 6. 販売事業

中国生乳販連と連携し、5会員共販体制による機能強化を図ります。

体細胞数の低減に向け、30万以下適合率85%以上を目指します。

### 7. 購買事業

仕入先の検討や未利用資源の活用と斡旋により、飼料価格の低減に努めます。

### 8. 経理

組合財務の安定と健全性に努め適正な運営を図ります。

### 9. 特別対策室

組合員の酪農経営健全化を図り、安定的な所得向上に努めます。

### 10. 経営管理

各事業体制の見直しを行い、効率的な事業運営に努めます。

コンプライアンス態勢の強化と不祥事未然防止の強化に努めます。

# 平成26年度各農業普及指導センターの 畜産関係重点課題について

農林水産総合センター普及連携部普及推進課

各農業普及指導センターでは、地域の実情に即した課題を設定し、計画的に普及指導活動を行っています。

平成26年度重点課題の中から、畜産に関する内容を紹介します。

## 【岡山農業普及指導センター】

[課題名]

関係機関が連携して取り組む酪農家の経営安定化支援

[内容]

- 乳質改善に対する意識の向上と対策支援
- 分娩前乳房炎診断等の技術導入及び暑熱対策の実施による乳質の向上
- 農家ミーティングによる経営安定支援

## 【東備農業普及指導センター】

[課題名]

地域に根ざす安定・継続した畜産経営体の育成

[内容]

- 飼料用稲の低コスト安定生産技術と給与技術の確立
- ワイン粕や稲わら等未利用資源の利活用推進
- 周年水田放牧技術の確立
- 特色ある畜産物の生産推進
- 経営継承のための支援体制の強化と早期経営の安定化支援

## 【倉敷農業普及指導センター】

[課題名]

乳質の高位安定化支援

[内容]

- 暑熱対策技術の導入による乳質の改善
- 牛舎内の生乳衛生環境の向上

## 【井笠農業普及指導センター】

[課題名]

乳牛の夏季生産性向上と牛乳の衛生リスクの低減による酪農経営の安定化

[内容]

- 暑熱対策の早期化による生産性の向上
- 衛生リスク低減による安全性の向上

## 【高梁農業普及指導センター】

[課題名]

安全・安心な乳生産の推進と酪農経営の安定化

[内容]

- 飼養管理技術の改善による生産性の向上
- 暑熱対策による生産性の向上

## 【新見農業普及指導センター】

[課題名]

肉用牛の経営支援体制整備と地域資源の活用推進

[内容]

- 哺育・育成期の発育向上と出荷子牛の斉一化
- 自給飼料（イネWCS、稲わら等）の利用技術向上と体制の整備

### 【津山農業普及指導センター】

#### [課題名]

地域内飼料自給体制の確立による安定した畜産経営の実現

#### [内容]

- イネWCS高糖分品種の通年給与技術の確立
- WCS用イネ新品種の地域適応性の検討
- 地域未利用資源の飼料調製及び給与技術の確立

### 【真庭農業普及指導センター】

#### [課題名]

ジャージー酪農の高品質生乳生産と自給飼料生産利用の多様化推進

#### [内容]

- 新技術導入とカウコンフォートの改善による乳質の改善
- イネWCS等自給飼料の給与技術の確立

### 【勝央農業普及指導センター】

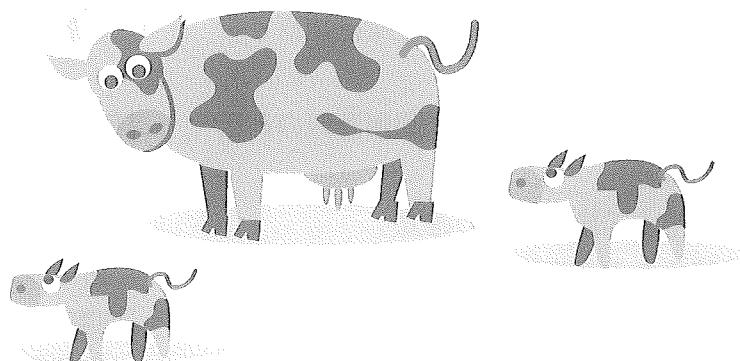
#### [課題名]

乳房炎対策の徹底とイネWCS活用推進による酪農経営改善

#### [内容]

- 乳房炎対策技術（早期発見、カウコンフォート）の確立及び普及
- 高糖度イネWCSの効果的な給与方法の検討と普及

以上、9課題以外にも、作物担当普及指導員と連携して、集落営農組織等を対象とした新規需要米（飼料米等）など畜産に関係した重点課題にも取り組んでいます。



# 平成26年度重点事業について

一般社団法人岡山県畜産協会

## 1 推進方針

我が国の経済は、円安や株価上昇により国内景気も上向きにあると言われていますが、農業に関しては高齢化や過疎化の進行、耕作放棄地の増加等により生産活動が低下し、併せて日豪EPAの合意による牛肉の関税引き下げやTPP交渉の進展など内外要因ともに厳しい状況におかれています。

また、本年度、国内で発生のあった高病原性鳥インフルエンザや県内発生を見た豚流行性下痢など伝染病の進入とまん延防止対策の強化が求められています。

こういった中、畜産協会では、畜産関係機関のご支援、ご協力を頂きながら、下記の課題に重点的に取り組みます。

## 2 主要事業

### ①健全な畜産経営体を育成するための経営診断・指導及び担い手、女性経営者の育成

○畜産経営技術高度化促進事業（県委託）

畜産農家の経営診断、酪農経営支援チーム（県域、地域）による経営改善指導、岡山和牛子牛の資質向上と増頭を図るための四ツ☆子牛を推進します。

また、新規参入希望者等を対象とした講義や実習等による肉用牛入門講座を実施し、後継者及び担い手の育成を図ります。

○畜産特別資金推進指導事業（中畜補助）

資金借受者の経営体质強化のため、経営分析に基づく指導を実施します。

### ②酪農・肉用牛の振興対策

○酪農経営安定化支援ヘルパー事業（機構補助・一部新規）

ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現及び担い手の確保を図るため、酪農ヘルパー人材育成支援、傷病時利用時の負担軽減、利用組合の強化を支援します。

○肉用牛経営安定対策補完事業（機構補助）

肉用牛ヘルパー活動の推進や中核的担い手の育成と増頭、簡易牛舎等の整備を推進します。

○Motto自給飼料！稻WCS専用品種普及対策事業（県補助）

稻WCS専用品種の作付け拡大と作業体制の整備と効率化を進めます。

○持続的酪農経営支援推進事業（国補助）

環境負荷軽減に取り組む酪農家に対し、奨励金を支払います。

○都府県酪農経営国産粗飼料利用体制強化事業（中畜補助・新規）

国産粗飼料の利用・定着を推進するための取組を支援します。

（6,100円／経産牛 1頭）

### ③畜産公共事業

○家畜排せつ物処理施設ストックマネジメント事業（国・県補助）

事業主体として、吉備中央町のエコセンターの機能保全対策工事を行います。

### ④価格安定等対策

○肉用牛肥育経営安定特別対策事業（機構・県補助）

肉用牛肥育経営の安定化と肉用牛生産

基盤の拡大に資するため、出荷された肥育牛の粗収益が生産費を下回った場合、造成した基金を取り崩し、差額の8割を肥育補填金として交付します。

○肉用子牛生産者補給金制度（機構・県補助）

肉用子牛の価格が低落し、保証基準価格を下回った場合、生産者に対して生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定化等を図ります。

○肉用牛繁殖経営支援事業（機構補助）

肉用子牛の四半期別の平均売買価格が発動基準（黒毛和種42万円）を下回った場合、子牛に対して、発動基準を下回った額の3／4を交付します。

○養豚経営安定対策事業（機構・県補助）

肉豚経営の安定化を図るため、粗収益と生産費の差額の8割を補填金として交付します。

⑤家畜伝染性疾病の発生防止、衛生管理の向上等自衛防疫の推進

○予防注射事業（協会）

家畜の伝染性疾病の発生を防止するため、牛異常産3種混合等のワクチン接種を計画的に実施します。

特に、豚流行性下痢の国内での感染拡大伴い、ワクチンの接種を推進します。

○家畜生産農場清浄化支援対策事業（国補助・一部新規）

ヨーネ病の防疫推進、家畜の伝染性疾病の発生防止、飼養衛生管理の向上対策の他、新規事業として、牛白血病の拡大防止を図るため農場での検査等を行います。

○特定疾病自衛防疫推進事業（県補助）

鶏ニューカッスル病など各種予防注射を計画的に実施します。

○農場HACC認証普及推進支援事業（中畜委託）

農場HACCの認証取得を目指す農場に対し定期的な指導を実施するとともに、農場HACCの手法の県内への普及を図ります。

⑥死亡牛のBSE検査の補完業務等

○家畜衛生管理センター維持管理業務（県委託）

死亡した牛のBSE検査のため、集荷採材保管施設の維持管理を受託します。

○死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（国補助）

死亡牛の円滑な処理を進めるため、農家に輸送費、処理費を補助します。

⑦生乳検査並びに乳質改善指導

○生乳検査受託事業（中販連委託）

中国5県で生産される生乳の格付検査を月3回行う他、生産者ごとの乳成分や細菌数の検査等を実施し、生乳の公正かつ円滑な取引に寄与します。

また、牛群検定農家の個体別成分検査や指導検査を実施し、飼養管理の改善や乳質向上に努めます。

事業の詳細については、電話でお気軽にお尋ねください。

経営指導部 086-222-8575

家畜衛生部 086-232-8442

価格安定部 086-234-5981

## 〔家保のページ〕

# 暑熱時期の繁殖対策について

岡山家畜保健衛生所

### ＜はじめに＞

世界中、ワールドカップで盛り上がっていると思いますが、皆さんはいかがでしょうか？多分私は、毎夜録画した試合を見て寝不足になっていると思います。この文章はそのように試合を観戦しがてら読んでみて下さい。

今回、暑熱時期の牛（主に乳牛）の繁殖対策について少し述べたいと思います。

### ＜夏場はなぜ受胎率が下がる!?＞

近年、夏の猛暑が恒常化しています。人も家畜も暑い日々にストレスを抱えながら対策に追われることと思われます。気象庁の予報では、今年の夏も平年並みの暑さとの見込みですので、この夏を乗り切る準備が必要かと思われます。

家畜である牛にも様々なストレスがありますが、中でも暑熱のヒートストレスによる生産性の影響は甚大です。牛がヒートストレスを受けると食欲の低下、搾乳量の減少等が起こりますが、特に繁殖成績の低下は深刻な問題となっています。

ところで皆さん、夏季の種付け成績はいかがでしょうか？中には「季節に関係なく、良くついているよ（受胎しているよ）」と言われる方もいると思いますが、多くは「暑いときはなかなかつかない（受胎しないよ(\*\_\*)）」と思っているのではないかでしょう？

私の知っている、県南のある酪農家の方は、「夏は付かないから種を付けない」と言いきっていました。次に涼しくなった秋に訪問すると、「今種付けをしたら、夏産みになつて、事故が起こるからつけない」と言われたことがありました。改めて夏場の繁殖管理というのは、とても難しいのだなと認識しました。ただ、その農家は12月頃から種付けを行い、ほとんどが1～3回

の授精で受胎させていました。この大胆な繁殖管理には確固たる飼養技術、授精技術があるからこそできることと感心しました。

話がズレましたが、夏期のヒートストレスにより、牛の体温が上昇し、その影響として発情兆候の低下、排卵障害、受精後の胚の発育障害などが起きます。

通常人工授精された精子は、子宮内環境で2～3時間で数パーセントに減少するとの報告があり、さらにヒートストレスを受けた場合には、精子の生存時間が短くなることも示唆されています。卵子については、排卵後2～3日目の卵子はヒートストレスに弱く受胎率が低下するという報告があります。また、最近の研究では、受精後の胚の子宮への輸送が上手くいかないことも原因の一つと報告もあります。

つまり、精子、卵子、初期の胚はヒートストレスに弱いと言うことが分かります。暑熱期に受胎率が下がるのは、こういった理由からなのです。

### ＜対策を見つけよう！＞

さて、このようなヒートストレスの下でも、健全な畜産経営を行うためには、授精し受胎させなくてはなりません。その対応方法についていくつか記したいと思います。

#### point

- ①飼養管理環境の改善
- ②濃厚精液ストローの利用
- ③受精卵移植の活用 等々があります。

①については、ヒートストレスの元を絶つと言うことで“送風機や、噴霧器等を使い直接牛の体温を下げる”、“牛舎の屋根にドロマイド石灰を塗布したり、寒冷紗を使い直射日光を防ぎ牛舎の温度の低下させる”等、夏場の暑熱対策としていろいろと

紹介されているので今回は割愛します。

②については、精子の生存率が下がるのなら、より多くの精子を注入し、授精の確率を上げるのが狙いです。この対策について、精液の供給元の一つである（一社）家畜改良事業団では、夏季授精用の濃厚精液ストローを作成しています。その内容は、精子数を約2倍にした精液ストローを作成・販売しているとのことです（但し、希少精液については対応が出来ないとのこと）。

また、岡山県種雄牛精液については、年間を通じて濃厚精液ストローを作成しています（1本当たり5,000万個以上の精子数）。一般に販売されている精液ストローには、およそ2,000万個精子が入っています、つまり、2.5倍以上の濃度のストローを作成し、繁殖性の向上を図っています。

濃い精液については、授精師さんや畜産研究所、おかやま酪農協担当者及び家畜保健衛生所職員等にお尋ね下さい。

なお、参考までに県の精液のチラシを掲載します

H26.4現在

酪農家の皆様へ  
岡山県のオススメ精液（和牛）のご案内  
～繁殖成績の向上にご活用ください～

畜産研究所の和牛精液は、年間を通じて濃厚（精子5000万／ストロー）となるよう作製しており、繁殖成績の向上に有効です。

※空腹期間が1周期延びると1頭あたり約55,000円の損失とされています。（岡山県データより算出）  
以下の種雄牛は、F1生産に利用されているものの一例です。お気軽にお問い合わせ下さい。

R.上原マスコット らむっさ

基幹種雄牛：1,500円／本（別途おからく手数料250円が必要です。）

沢茂勝 平茂勝×利藤  
産子は大きめ

新初英 沢茂勝×利花  
産子は小さめ

など

候補種雄牛：500円／本（別途おからく手数料200円が必要です。）

沢利姫 沢茂勝×利花  
産子は中くらい

美咲秋藤 萌洋×第2富藤

など

※価格は税別です。  
※産子の大きさは目安です。

お問い合わせは  
岡山県農林水産総合センター 畜産研究所 TEL: 0867-27-3221  
もしくは最寄りの家畜保健衛生所まで

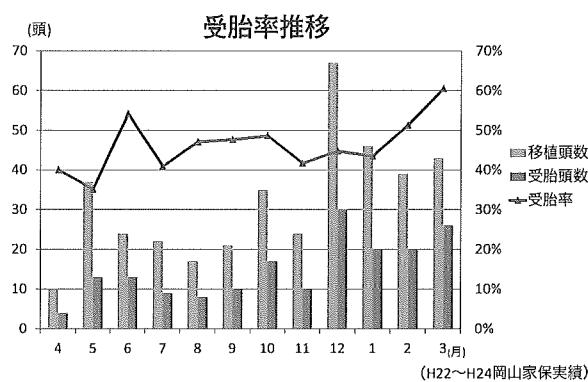
③についてですが、ヒートストレスの影響を受けにくい受精卵を活用して、繁殖成績を高めるねらいです。受精卵は読んで字のごとく、すでに受精しているので、精子

や卵子を必要としません。また、発情の同期化を行う事により性周期を把握することもできます。このため、時期を選ばず、一定の受胎率が見込まれます。

県南である岡山家保の平成22年から24年までの受精卵移植による月別受胎率をグラフ1に示します。このように、夏場だから極端に受胎率が落ちているかと言えばそんなことはありません。また、県北の津山家保管内のデータでも同様に夏場に受胎率が落ちているデータはありません。

つまり、「受精卵移植は夏場も受胎率が変わらない」といっても良いでしょう。

夏の暑熱時期の受精卵の活用は、繁殖成績を向上させる有効な対策の1つと思います。



#### <最後に・・・>

夏期の人工授精の受胎率の低下は様々な原因により起こりますが、受胎しにくいと言って、放っておくと経営上大きな損失となります。

ざっくりとした数字ですが、酪農経営では分娩間隔が1日延びると約1,200円の損失、和牛繁殖経営では600円の損失といわれます。

さらに、酪農経営では、夏場に受胎すれば、分娩が5月・6月となります。そうすると牛乳の需要の高い時期に泌乳ピークを持つることができます。

夏場、通常の人工授精での受胎率が悪いのは事実です。しかし悪ければ悪いなりに少しでも受胎率を上げるために工夫をした、攻めの繁殖管理を行うことも大事と思われます。

来年の今頃には、沢山の子牛が誕生していることを期待し、今年の夏は、繁殖対策を見直してみてはいかがでしょうか!?

## 〔技術のページ〕

# 主な試験研究等について

畜産研究所 経営技術研究室 企画開発グループ

畜産研究所では、平成26年度も生産現場で役立つ実用的な技術をはじめ、本県畜産の将来を見据えた基盤的な技術の試験研究や優良種畜の精液、受精卵の供給事業等を積極的に進めています。

特に、試験研究では基本方針として「基本的な4つの柱」及び「重点的に推進する課題並びに事業」を設定し、効率的に研究を進めるとともに、関係機関や大学、民間企業とも連携して迅速な成果の獲得と普及に取り組む計画です。

本年度は10課題の試験研究と7事業を実施する計画ですが、その中で、今回は主な試験研究5課題や新たに取り組む業務について紹介します。

### ○主な試験研究課題

#### (1) 「おかやま四ツ☆子牛」認定率向上を目指した子牛生産技術の確立

これまで関係機関と協力し、魅力ある和牛子牛の生産を目指して「岡山和牛推薦子牛（おかやま四ツ☆子牛）認定基準」を作り、この基準に適合する発育良好な子牛生産を進めてきました。認定率は年々上昇しているものの、人工哺育の子牛については発育にバラツキがあり、認定率を下げる大きな要因となっています。

そこで、これを改善するため次の2点を検討します。

第1に、母牛に対する妊娠後期の栄養補給方法を見直し、丈夫な子牛の生産につながる母牛の管理技術を検討します。第2に、これまで手がけてきた強化哺乳の技術を確実に生かすため、子牛の哺育期から育成期にかけての栄養補給方法を検討します。

こうした取組を通じて、健康で発育良好な子牛の安定生産技術を確立するとともに、「おかやま四ツ☆子牛」の認定率30%を目指します。

#### (2) 麦ホールクロップサイレージ (WCS) の調製と利用技術の確立

輸入飼料の価格が高止まりする中で、飼料用稻の栽培やそれを支えるコントラクターの育成が進んでいます。こうした動きを定着させるためには、水田機能をフル活用し生産性を高めることが必要です。

そこで、水田裏作を利用した麦WCSの生産、調製、利用について、耕種農家や地域のコントラクターとも協力して実証的に技術開発を進めます。

飼料用麦の利用は昔からありましたが、表作である水稻との作業競合やサイレージの発酵品質、赤カビ病の発生などの課題もあり、思うように進んでいないのが実情です。そこで、多収が期待できるライ小麦を軸に、栽培時期の調整や稻WCS専用収穫機の利用などについて、県の南部と北部のそれぞれで実証的に検討し、品質が安定し、利用しやすい二毛作栽培体系を確立する計画です。



### (3) ジャージー牛の特性を生かした自給飼料多給型の牛肉生産技術の開発

本県のブランドであるジャージー種は生乳だけでなく、肉についても食味がよく大きな魅力があります。そこで、この特性を生かした牛肉の生産技術を開発して、新たなブランド化を図ります。特に、稻WCSなどの国産自給飼料を多給した低コスト生産技術を蒜山酪農農業協同組合と共同で開発するとともに、流通業界のバイヤーや飲食業の料理人、消費者など実需者の皆さんと一緒に意見交換しながら、脂肪交雑に拘らない消費者の嗜好にマッチした新たなブランド牛肉の創出を進めます。



### (4) 家畜ふん堆肥を原料とする新しい肥料の開発

肥料取締法施行規則等の一部改正により、堆肥の土壤改良効果と化成肥料の高い肥料効果を併せもった「混合堆肥複合肥料」の利用が可能となりました。この利用が進めば、県内の良質堆肥の利用促進だけでなく、農産物の特別栽培の生産性向上に大きく貢献します。そこで、農業研究所と共同で肥効や性状が安定し使いやすい複合肥料について、製造方法や原料堆肥の簡易かつ迅速な測定方法を検討します。

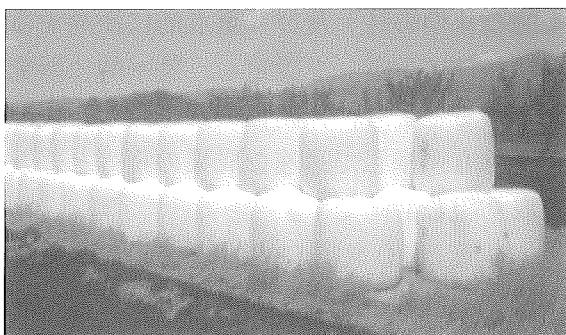
### (5) サイレージの好気的変敗を抑制する乳酸菌製剤の開発

自給飼料の貯蔵は、サイレージ化が一般的ですが、サイレージは開封により空気に触れると発熱やカビの発生などの好気的変

敗が起こりやすく、牛の嗜好性や栄養価の低下につながるため、改善が求められています。

近年、岡山大学でこの変敗を強く抑制するホモ型乳酸菌が見つかり、新しいサイレージ添加剤として開発するため、大学を中心に当研究所も加わり共同研究を実施しています。

その中で、当研究所は乳酸菌の効率的な製剤化やトウモロコシサイレージへの効果的な添加方法、乳牛への給与効果を分担します。



#### ○飼料及び堆肥の分析業務

これまで岡山家畜保健衛生所病性鑑定課が所管していた飼料と堆肥の分析業務を、本年度より当研究所に移し実施しています。今後は、分析の結果を回答するだけでなく、これまで研究所が培った自給飼料や糞尿処理の研究成果や技術的なノウハウを踏まえ、分析依頼の窓口となっている家畜保健衛生所や普及指導センターとも連携し、総合的な助言や支援に向け、取組を強化する予定です。

以上、簡単ではありますが平成26年度の主な取組について紹介しました。試験研究は生産現場に普及する成果を出してこそ価値があります。取組の準備から実施を含め、生産者や関係機関の皆さんと連携を強化しながら、より普及性の高い技術開発を目指しますので、本年度もよろしくお願ひします。

## (畜産現場の声)

# 目標は1万2000kg牛群

岡山市 妹尾 優佳

### 就農まで

平成23年春に就農しました。小さい頃から身近に大好きな乳牛がいて、両親に勧められた訳ではないのですが、平成9年に公社営事業で整備したオートタンデムパラ（4頭W）とフィードステーション（4基）をそなえたフリーバーン牛舎（80頭搾乳）もあり、牛の好きな兄とも相談し、結局私が後継者になると決めました。

高校卒業後、酪農学園大学（酪農学科）へ進学し酪農の知識や技術を習得しました。

特に学科ゼミで超音波診断装置を用いた研究経験は、卒業後のメガファーム就職や現在の経営に役立っています。

大学卒業後の選択肢は、大学院、研究生、海外実習等ありましたが、将来の就農のことを考え、より実践的な技術を身につけようとJリード牧場に2年間就職しました。1000頭以上を飼養し、年間乳量2万kgを超えるスーパーカウや共進会上位入賞牛を作出している点に注目しました。

Jリードの朝は早く、フリーストール担当は午前3時、つなぎ牛舎では午前4時からの作業開始でした。2年目からは繁殖を任せられ選畜から精液、種付けまですべて自分で行いました。受精回数、空胎日数など数字になって現れるのでプレッシャーもありましたが緊張感とやりがいがありました。

### 就農してから

就農後は、早くから飼養管理を任せられました。就農時に超音波診断装置を購入してもらい、妊娠鑑定や分娩後の健康状態チェックをしています。

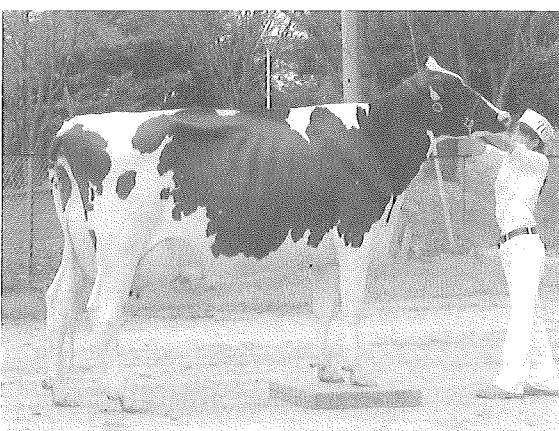
早期に受胎させることを心がけていますので、分娩後120日までの妊娠率は69%（就農時58%）になっています。

健康管理については、両親も以前から気を配っており、就農前から経産牛1頭当たり年間平均1万kg以上を搾り、分娩間隔も400日を切っていました。

両親からは「自分の好きなようにしてよい」といわれていますが、両親に恥じない経営にしたいと思っています。

当面は乳牛の改良に力を入れ、牛群の齊一化を図りながら乳牛を健康に飼うことを中心ベースに考えています。

目標は、1万2000kgの牛群作りとビッグショーのチャンピオン牛作りです。



## 〔消費者の声〕

# おかやまコープの地域農業と食をつなげる取り組み

(一社) 岡山県畜産協会

生活協同組合おかやまコープは、「食料自給率の向上」「循環型農業の応援」「地産地消の推進」などを基本テーマに活動されています。

今回は、安全性に配慮した輸入飼料や米の転換作物として拡大が期待されている県内産の飼料用米、飼料用稻（稻WCS）などのエサを使用したこだわりのある地産商品とその商品を通じた生産者と消費者の交流の取り組みを紹介します。

## 1. こだわりのある商品

### (1) コープ産直こめたまご

岡山県内の8農場（高梁市3農場、備前市2農場、美作市1農場、赤磐市1農場、鏡野町1農場）で生産されています。飼料は、生協専用の配合飼料でNON-GMO（遺伝子組み換えをしていないトウモロコシ）、PHF（収穫後に農薬を使用しない）コーンに魚粉や生米ぬかを加えたオリジナルなエサです。現在は、輸入トウモロコシに変えて飼料用米を20%配合しており、年間約1100トン（10a当たり530kgの収量として207ha）使用されています。

### (2) 生協牛乳・低脂肪牛乳

生協牛乳は瀬戸内地域（岡山市、瀬戸内市）の48名（2014年5月末時点）の酪農家に限定され、県内の乳業会社で製造されています。粗飼料の一部は県内で栽培される飼料用稻（稻WCS）を給与しており、自給率の向上に寄与しています。

低脂肪牛乳は、岡山県西部地域（笠岡市、井原市、倉敷市、高梁市、吉備中央町）の

酪農家23戸に限定し、県内乳业メーカーで製造されています。笠岡地区では、家畜糞尿を堆肥化し、それを肥料として投与し牧草や飼料用トウモロコシを生産しエサとして利用されています。

### (3) コープおかやま豚

岡山JA畜産美星農場（井原市）と吉備農場（新見市）に指定し、NON-GMOとPHFコーンに竹の抽出液（獣臭抑制）を加えたエサで飼育されています。また飼料用米を20%配合しており、年間約384トン（724ha）使用されています。

### (4) コープおかやま牛

素牛は、指定した2農場からホルスタイン種の雄牛（去勢）を導入して、伍協牧場（奈義町）と岡山JA畜産田渕牧場（新見市）で鶏や豚と同様にNON-GMOとPHFコーンエサで飼育されています。また、飼料用米を10%配合しており、年間約145トン（27ha）使用しています。

## 2. 産地交流会での消費者の感想

養鶏場では、「1羽1羽、表情をチェックしながらのエサやりを見て、鶏への愛情が伝わってきた。鶏舎の清掃や卵の検卵作業の厳しい衛生管理に感心した。」

養豚場では、「こだわって育てられていることを知った。きれいな環境で育てられ、出荷前の豚の清潔さに感心した。ペットショップのミニ豚しか見たことがなかつたので、本物の豚は想像よりずっと大きくてかわいかった。種豚の雄雄しさに見入った。若い女性の職員の方が一生懸命作業さ

れており大変好感がもてた。小さなかわいい子豚を見ると食べちゃうのが少し心苦しい。でも豚肉って美味。命を頂くありがたさを感じた。」



肉用牛農場では、「子供と一緒に参加できてよかったです。家は農家ですが、昔のように子供に手伝ってもらって作物を植えたり育てたり収穫したりすることはなくなつた。牛も近くにいなくなり、車で通りすがりに見ることがあるだけとなつた。子供にとって牛を見ることは、本やテレビで見るよりも身近な情報になると思う。また、こんな体験ができればいい。」などの感想が寄せられました。

自分たちが食べている畜産物がどのようなエサ、環境、管理で生産されているのか分かってもらえ、商品への理解が深まるとともに生産者と消費者の距離が縮まったと思います。



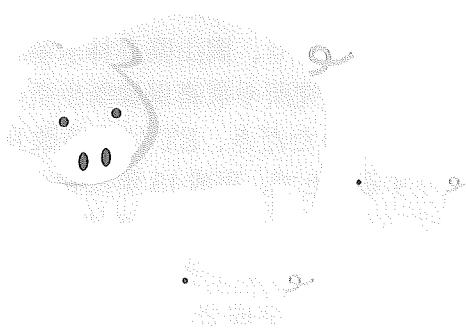
### 3. 今後の取り組み

おかやまコープでは、生産者の苦労や喜び、生産へのこだわりを知り、生産者との相互理解を深めることを目的に、組合員の産地交流を行ってきました。昨年度も、農業、水産業、畜産業を含め県内の産地交流が述べ22産地で行われ、生産者の苦労や想いに触れるとともに産地や商品をより身近に感じることにつながっています。

また、地域の中で耕種農家と畜産農家が堆肥や飼料を供給しあい、耕畜連携が図られていることやその大切さを学び、耕畜連携・循環型農業でつながっている商品の普及活動に取り組むことで、食糧自給率の向上や、地域農業の応援につなげていきたいと思います。

2014年はおかやまコープ再建40周年記念事業として、新しくトマト事業を始めます。地産地消の推進、食の安全・安心はもとより、地域農業の活性化、雇用、社会福祉の面からも期待されています。

これらの事業や活動を通じて、産地や生産者、行政や地域とつながりながら、これからも地産地消の推進、食糧自給率の向上、循環型農業の応援に取り組んでいきます。



## 〔教育現場の声〕

# 新見高校における畜産教育

岡山県立新見高等学校 生物生産科

新見高校は、岡山県和牛発祥の地である新見市にあり、生物生産科では、3年間を通じて、畜産、食品製造、作物、草花、果樹、野菜、林業、農業機械と、農業に関するあらゆる分野の学習に取り組んでいます。

畜産の学習については、生物調査部畜産班の活動として、牛の高等調教技術である「碁盤乗り」に取り組んできました。この「碁盤乗り」は、平成9年に本校で成功させて以来、代々先輩から後輩へとその技術が伝承されてきました。そんな中、平成24年10月に長崎県で開催された第10回全国和牛能力共進会で披露するという機会をいただいたことは、生徒たちにとって、生涯忘れられない体験となりました。その他、毎年6月に開催される哲多ふる里すずらんまつりでも、この碁盤乗りを披露する機会をいただいており、生徒たちは牛との信頼関係を築き、試行錯誤しながら毎日の練習に取り組んでいます。現在、新たに3頭を調教中です。機会があれば、濃艶脂、濃紺、翡翠の3色の「ゆたん」をそれぞれ身にまとい、誇らしく碁盤に乗る牛たちを披露し、それをご覧いただければ光栄です。

また、牛と過ごす日々を通じて、牛を見る目を養い、本校で誕生した牛を共進会に参加させていただくことも増えてきました。畜産農家の皆様から多くのアドバイスをいただいたり、岡山県農林水産総合センター畜産研究所や家畜保健衛生所の先端技術を提供いただき、ETによる改良を行ったりすることで、平成15年に初めて参加させていただいた岡山県畜産共進会で、「あられ」号がグランドチャンピオン賞をいただきました。平成25年度は「ひかる」号が優等2席となり、その後も、牛のさらなる改良を目指して、努力を続けています。



写真1. 長崎全共での碁盤乗り披露



写真2. 哲多ふる里すずらんまつり



写真3. 碁盤乗り練習（3頭乗り成功!!!）



写真4. 平成25年度岡山県畜産共進会

## 豚流行性下痢ワクチンの供給開始

昨年10月に我が国で7年振りに豚流行性下痢（P E D）の発生が確認され、その後急速に感染が拡大して5月26日までに38道県701農場で発生が確認されています。P E Dに対する防疫体制を強化し、本病による被害を軽減するためには、消毒等の飼養衛生管理基準の遵守とともにワクチンの適正な接種は有効な手段となります。急速な感染拡大によりワクチンの供給が追いつかず、本県においても発生農場への供給に限られていました。

この度、昨年度の3倍に当たる年間約300万回分の供給が可能な状況となり、5月下旬からは、約33万回分（化学及血清療法研究所製）の出荷が予定されており、6月の必要量についても手当できる見込みとなりました。

畜産協会では県と協力して毎月、養豚農場の翌月の必要見込量を調査し、協会扱い分の必要量の確保に努めて参りますので調査にご協力願います。

なお、調査に当たっては1月間に実際に接種するワクチン量を報告いただき、必要以上のワクチンを確保することにより、ワクチンの円滑な供給を妨げることの無いようお願いします。

また、本ワクチンは妊娠豚の筋肉内に2回注射して血中抗体価を高めることにより、分娩後、抗体を含む乳汁を飲んだほ乳豚の発症を防いだり症状を軽くするもので、子豚に注射しても効果はありません。ワクチンの接種間隔もメーカーによって違いますので、接種に当たっては用法を十分ご確認願います。

## 牛異常産ワクチンの接種はお済みですか？

アカバネ病による牛の異常産は、生後感染も含めて平成23年次には岡山県を含めて全国的に流行し、確認できただけでも326頭の発生がありました。その後の2年間は、平成24年次に中国地方で5頭、平成25年次に九州地方で8頭の発生がありましたが、岡山県での発生は確認されていません。県内での流行から丸3年が経過する今夏は、アカバネ病の抗体を持つ牛が少なくなっています。再び大流行する危険性が高まっています。子牛の死亡や母牛の分娩事故による生産性の低下を防ぐためにも、まだ予防注射を行っていない場合は、感染が始まる前の7月までには予防注射を終えるようにしましょう。

平成  
27年度

# 学生募集

## ■推薦入試

受付期間：平成26年9月1日～10月10日

試験日：平成26年10月21日（本校会場）

10月22日（岡山会場）

## ■一般1次募集

受付期間：平成26年11月4日～11月28日

試験日：平成26年12月12日

## ■一般2次募集

受付期間：平成27年1月16日～2月20日

試験日：平成27年3月6日

牛たちとのふれあい、  
仲間との楽しい時間。  
大自然の中、一生に残る  
2年間を過ごしてみませんか？

平成26年  
オープンキャンパス  
第1回～2回  
7月24日～25日  
第2回～3回  
8月28日～29日

2年間で酪農経営力を  
身につけます！

酪農に必要な資格が  
取得できます！

奨学金の制度も  
あります！

公益財団法人

中国四国酪農大学校

T 717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632 TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652

SEARCH!

中国四国酪農大学校 GO!

# Q&Aコーナー

(一社)岡山県畜産協会 経営指導部

**Q**

肉用牛肥育経営安定特別対策事業の補填金の支払い方法が変更になるとのことですが、どのように変わるのでしょうか？

**A**

現在実施されています新マルキン事業は、生産者（岡山県においては、県より補助が行われています。）と国により1：3で基金を造成し、肥育牛1頭当たりの粗収益が生産費を下回った場合にその差額の8割を補填する事業となっており、平成23年7月に牛肉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出され、枝肉価格が低下し、収益が悪化したことから毎月払いが実施され、現在に至っています。

当事業の補填金単価の算定に当たっては、配合飼料価格安定制度の四半期別の補填金単価を利用していますが、平成26年度より配合飼料価格安定制度における四半期別の価格差補填の額の決定時期が補填対象期間の事前から事後に変更されたことから、毎月払いを継続している新マルキン事業においては、補填金単価の額が確定できなくなりました。

そこで、引き続き、毎月払いを実施するに当たり、下表のとおり、四半期前半の2ヶ月分は概算払いを行うこととし、その精算払いは、当該四半期の最終月期に販売された契約肥育牛の肥育牛補填金の交付の際に行うものとします。

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
現行	データ集計	●	●	●							
	算定(支払)				↓ 支払(1月分)	↓ 支払(2月分)	↓ 支払(3月分)				
見直し後	データ集計				▲	▲	▲				
	算定(支払)							↓ 概算払(4月分)	↓ 概算払(5月分)		
		● データ確定	▲ データの一部が未確定								
									↓ 精算	↓ 4・5月分支払(不足払)(6月分)	



ベストセラー ボバインシリーズ



乳牛・内牛飼料の専門メーカー

株式会社 **オールインワン**



中国支店 〒710-0826 岡山県倉敷市老松町1丁目2-40-101  
TEL (086) 427-6300 FAX (086) 427-6011



世界最高熱度の  
クリスタル・ロック・ソルト  
**ボバイン・クリystal**

動物用医薬品  
総合商社

AMPアグロ株式会社

取扱品目

動物用医薬品、医薬品、飼料添加物、混合飼料、  
動物用機器・機材、土壌検査器具・機材 他畜産関連商品

事業所一覧

本 社 〒061-1274 北海道北広島市大曲工業団地6丁目2番地13 TEL 011-376-3860 FAX 011-376-3450  
岡山オフィス 〒700-0822 岡山県岡山市北区表町3丁目5番1号 TEL 086-224-1811 FAX 086-224-1819  
AHSC西日本 〒703-8256 岡山県岡山市中区浜1丁目10番5号 TEL 086-270-9510 FAX 086-270-8371  
御津物流センター 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4816 FAX 0867-24-4882

【中国営業部】

岡山支店 〒709-2122 岡山県岡山市北区御津吉尾1番地1 TEL 0867-24-4880 FAX 0867-24-4889  
広島支店 山口支店 鳥取支店 島根支店

【四国営業部】高松支店 徳島支店 松山支店 宇和島支店

【近畿営業部】京都支店 大阪支店 兵庫支店

【北海道営業部】札幌支店 函館支店 旭川支店 帯広支店 北見支店 釧路支店 東京支店

【東北営業部】青森支店 秋田支店 盛岡支店 一関支店 山形支店 仙台支店

【北九州営業部】福岡第一支店 福岡第二支店 熊本支店

【南九州営業部】宮崎支店 鹿児島支店 鹿屋支店

【食品営業部】福岡食品支店 宮崎食品支店 鳥栖食品支店 唐津食品支店 東京食品支店

※AHSCはアニマルヘルスサポートセンターの略称です

株式会社 アスコ  
<http://www.asco.sala.jp>

国内広域展開の動物用医薬品ディーラー  
人と動物の健やかな共生環境づくりに貢献します

本社

〒441-8021  
愛知県豊橋市白河町100番地  
TEL 0532-34-3821  
FAX 0532-33-3611

営業所  
所在地

- ・東北支店  
宮城、福島
- ・東日本支店  
埼玉、前橋、松本、旭、茨城、栃木  
東京、大宮
- ・中日本支店  
豊橋、安城、浜松、沼津、岐阜、名古屋
- ・西日本支店  
広島、福山、山口、米子、岡山  
大阪、京都

生命をのせて回る地球上に、潤い豊かな未来を届けたい。

ASCO

# 高知競馬開催案内

地方競馬の収益金の一部は国内の畜産振興に役立てられています。

7月				8月			
開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考	開催日	備考
1 火		17 木		1 金		17 日	○ ナイター
2 水		18 金		2 土	○ ナイター	18 月	
3 木		19 土		3 日	○ ナイター	19 火	
4 金		20 日	○ ナイター	4 月		20 水	
5 土	○ ナイター	21 月	○ ナイター	5 火		21 木	
6 日	○ ナイター	22 火		6 水		22 金	
7 月		23 水		7 木		23 土	○ ナイター
8 火		24 木		8 金		24 日	○ ナイター
9 水		25 金		9 土		25 月	
10 木		26 土	○ ナイター	10 日		26 火	
11 金		27 日	○ ナイター	11 月		27 水	
12 土	○ ナイター	28 月		12 火		28 木	
13 日	○ ナイター	29 火		13 水		29 金	
14 月		30 水		14 木		30 土	○ ナイター
15 火		31 木		15 金		31 日	○ ナイター
16 水		ナイター(15:30~20:50)		16 土	○ ナイター	ナイター(15:30~20:50)	

## トピックス

岡山県馬事畜産振興協議会(事務局 岡山県畜産協会)は、平成26年6月1日(日)に岡山県畜産研究所内のまきばの館で開催された感謝祭に参加し、県内外からの多くの来場者に、「牛、鶏さんの話」「牛乳料理」などのPRパンフレットや畜産協会が作成した「岡山県の牧場体験はここでできる」の冊子を配布して、県畜産への理解を深めて頂きました。



### 訂正とお詫び

4月号「岡山県畜産関係各種協議会名簿一覧」の記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

P19 : 岡山県養鶏協会 会長

(誤) 安原 健仁 (正) 安原 健二

皆さまにご迷惑をお掛けしましたことをお詫びするとともに、ここに訂正させて頂きます。

### あとがき

6月号では、中国四国酪農大学校(酪大)や新見高校での酪農、畜産教育の取組について寄稿を頂いた。先生方の情熱に頭が下がる思いである。酪大では、今年も25人の学生が夢と希望を抱いて入学した。かつて、酪大で教育に携わったことのある私は、最近子弟の親として入学式に臨む教え子たちとのうれしい再会も増えた。親子で日本の酪農を支えてくれると思うと感激もひとしおである。新見高校では、生徒たちが和牛全国共進会で伝統の牛の碁盤乗りを披露したり、県共進会で上位入賞を果たした。優れた人材が育ってきている。彼らが、日本の畜産を守り、地域のリーダーとして活躍する日も近い。我々も、そのための環境作りに努力する必要があると思う。(N・S)

### 岡山畜産便り 6月号(初夏号)

第65巻第4号(通巻651号)

平成26年6月25日発行

定価250円(消費税・送料含)

発行人 樋口義男 編集人 柴田範彦

発行所 一般社団法人 岡山県畜産協会

〒700-0826 岡山市北区磨屋町9-18 岡山県農業会館5階

TEL 086-222-8575 FAX 086-234-6031

印刷所 岡山県農協印刷株式会社

## 取扱品目のあらまし

動物用ワクチン・血清類一切、獣医畜産用薬品全般

家畜・家禽の飼料添加剤各種、獣医畜産用器具機械類

衛生材料(ガーゼ・脱脂綿・繩帶・その他)

土壤関係検査測定器具・試薬



JYUCHIKU Co., Ltd.

### 株式会社 ジュウチク

岡山市北区奉還町4-4-11 岡獣ビル内

TEL 086-214-2288

FAX 086-214-2287

果物・野菜用  
植物活力剤

乳酸菌系葉面散布剤

# ラクトのチカラ

細胞の活性化 生育促進

使用目安(方法) 良くまぜてからお使い下さい。育苗時・本園定植後に500倍~1,000倍に水で希釈し葉面に散布してお使い下さい。施用回数は7日~10日に1回が目安です。生育状況に応じて散布回数を調整して下さい。使用後は噴霧機など機器内に希釈液が残らないように洗い流して下さい。目の細かい機器を使用する際は、目詰まり防止のためフィルターをご使用下さい。

(植物活力剤) 【窒素・リン酸・カリ 各 1% 未満】 【成分:豆乳・ブドウ糖・クエン酸・乳酸菌】 【保存上の注意:乳酸菌等の働きにより、ガスが発生する場合があります。希釈した液は保存できませんので、その日の内に使い切って下さい。開封後はなるべく早く使い切って下さい】 【飲用不可】

1.0L 2.0L

有機栽培なら  
灌水チューブで水と一緒に流してOK!  
根張りが  
良くなる!  
根の  
育苗助役  
活着促進!  
短縮!



製造総販売元  
**フタバ飼料株式会社** バイオ事業部  
〒709-0841 岡山県岡山市東区瀬戸町万富1057-1  
TEL 086-953-0832 FAX 086-953-1870  
e-mail:info@futabashiryo.co.jp